

3 今すぐできる情報モラル指導実践事例

実践事例1 ～情報の信ぴょう性について～

ゲームソフトをもらっちゃおう！(対象学年:小学校中学年)

(1) 目標

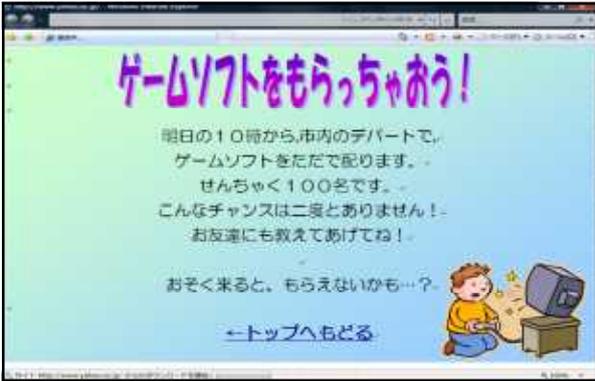
インターネットの情報には、ウソの情報や危険な情報も含まれていることを知り、そのようなサイトを見ないようにする態度や、必要のない情報や危険な情報に対しては、主体的に避けようとする態度を身に付ける。

(2) 題材について

情報の検索や他者とのコミュニケーションの道具として、社会に広く普及したインターネット上には有益な情報もあれば、ウソの情報や子どもにとって不必要な情報も含まれており、適切に判断することが難しい。

ここでは、擬似的な体験を通して、不必要な情報を主体的に避けようとする態度をはぐくみたい。

(3) 指導計画案

児童の活動	評価()と留意点()										
<p>いくつかのwebページを見る。 うそのページを見る。</p>  <p>うその情報を見て、感じたことを交流する。 うその情報であるとわかったときの感想を交流する。 被害例を知る。 今後、どのような態度でインターネットの情報に接するべきかを知る。 「見ない」「しない」「近づかない」ことを知る。</p>	<p>インターネットの情報はすべて正しいと判断することは危険であることを知る。</p> <table border="1" data-bbox="807 1532 1407 1917"> <thead> <tr> <th colspan="2">うその情報が広まった例</th> </tr> <tr> <th>主な例</th> <th>どうなったか</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「〇月△日に××県で大きな地震がくる」という、うその情報がインターネットやメールで広まった。</td> <td>多くの人がその情報を信用して、水や非常食を買うために、スーパーに殺到した。</td> </tr> <tr> <td>「友達の友達がレストラン△△で食事を注文したら、料理の中から虫が出てきたらしいよ」という情報をインターネットに書いた。</td> <td>そのレストランは、お客さんの数がへり、数か月後にはつぶれてしまった。</td> </tr> <tr> <td>中学生が、いたずら半分の気持ちで「××小学校にばくだんをしかけた」という文章をインターネットに書きこんだ。</td> <td>けいさつがインターネットに書きこんだ中学生を見つけ出し、その中学生はたいほされた。</td> </tr> </tbody> </table>	うその情報が広まった例		主な例	どうなったか	「〇月△日に××県で大きな地震がくる」という、うその情報がインターネットやメールで広まった。	多くの人がその情報を信用して、水や非常食を買うために、スーパーに殺到した。	「友達の友達がレストラン△△で食事を注文したら、料理の中から虫が出てきたらしいよ」という情報をインターネットに書いた。	そのレストランは、お客さんの数がへり、数か月後にはつぶれてしまった。	中学生が、いたずら半分の気持ちで「××小学校にばくだんをしかけた」という文章をインターネットに書きこんだ。	けいさつがインターネットに書きこんだ中学生を見つけ出し、その中学生はたいほされた。
うその情報が広まった例											
主な例	どうなったか										
「〇月△日に××県で大きな地震がくる」という、うその情報がインターネットやメールで広まった。	多くの人がその情報を信用して、水や非常食を買うために、スーパーに殺到した。										
「友達の友達がレストラン△△で食事を注文したら、料理の中から虫が出てきたらしいよ」という情報をインターネットに書いた。	そのレストランは、お客さんの数がへり、数か月後にはつぶれてしまった。										
中学生が、いたずら半分の気持ちで「××小学校にばくだんをしかけた」という文章をインターネットに書きこんだ。	けいさつがインターネットに書きこんだ中学生を見つけ出し、その中学生はたいほされた。										

(4) 指導のポイント

- ・子どもにとって身近な題材を取り上げる。

実践事例2 ～ネット上での誹謗中傷を防ぐために～

掲示板への書き込みが、心に傷跡を残す(対象学年:小学校中学年)

(1) 目標

何気ない書き込みが相手を傷つけることがあることを理解させ、ネット上で誹謗中傷などの書き込みを絶対にしない態度を身に付ける。

(2) 題材について

携帯電話上のサイトやインターネット上の掲示板サイトなどを中心に、匿名性を悪用した誹謗中傷が後を絶たず、いわゆる「ネットいじめ」が大きな問題となっている。

電子メール利用上のマナーや、個人情報の保護についての指導を行うとともに、一度書き込んだ内容は取り消せないことや、犯罪につながる場合もあることを理解させたい。

(3) 指導計画案

児童の活動	評価()と留意点()
実際の掲示板の書き込みを見て、気付いたことや、誹謗中傷を受けた相手の気持ちを考え、交流する。 掲示板の実態や、それに関連した犯罪の実態を知る。また、書き込んだ内容の消去は難しいことや、アクセスした足跡(アクセスログ)が残るということを知り、実際に検挙された例を知る。 今後、どのようなことに気をつけなければならないかを考える。	どのような行為が、ルール、マナーに反する行為か知り、絶対にしてはいけないことが理解できる。 顔が見えなくても相手の心情を配慮した情報の発信ができる。 アクセスログについて説明する。 「書き込まない」「人を傷つける書き込みはしない」「見ない」などの考えを期待したい。

(4) 指導のポイント

- ・誹謗中傷等の書き込みは、インターネット上のマナー違反だけでなく、名誉毀損や侮辱罪等の触法行為に当たることを理解させる。
- ・悪意をもった意図的な書き込みとともに、何気ない書き込みが相手を傷つける可能性があることを理解させる。

子どもへの指導とともに、家庭への働きかけも重要である。ネット社会が抱えている問題を投げかけ、子どもと約束することや、フィルタリングなどにより、有害情報を防ぐ方法を具体的に紹介していくことが重要である。

実践事例3 ～電子メールの正しい知識について～

チェーンメールは迷惑メール(対象学年:小学校高学年)

(1) 目標

チェーンメールなどの迷惑メールの問題点に気付き，チェーンメールは絶対にしてはいけないことを理解する。

(2) 題材について

本単元では，チェーンメールを送ることで，受信者に恐怖を与えたり，送信者の都合を相手に押し付けたり，うそやいたずらが無限に広がったりする問題点があることを理解し，困った時には，家族や先生に相談することや，チェーンメールを止める態度を身に付けさせたい。

(3) 指導計画案

児童の活動	評価()と留意点()
<p>「恐怖系」のチェーンメールを提示する。 提示したメールを「チェーンメール」と呼ぶことを知らせる。 自分のところに届いたら，どう思うか考えさせる。 提示したメールの問題点をグループで話し合い，発表する</p> <p>チェーンメールには，絶対にかかわらないことがわかる。</p>	<p>チェーンメールの問題点に気付くことができたか。 メールの問題点を示す。 例：言われた人数分回したら10回目には何人になるかなど。 チェーンメールの見分け方を知らせ，迷惑メールであることに気付かせる。 自分の所に届いた時には，先生や保護者に相談することを教える。 チェーンメールを止めようとする態度を身に付けられたか。</p>

(4) 指導のポイント

- ・メールやインターネットの仕組みから，転送しなくても何も起こらないことを知らせる。

迷惑メール相談センター

URL <http://www.dekyo.or.jp/>

チェーンメールの捨て場

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|------------------------|
| 1 risu1@ezweb.ne.jp | 2 risu2@ezweb.ne.jp | 3 risu3@ezweb.ne.jp |
| 4 kurisu1@softbank.ne.jp | 5 kurisu2@softbank.ne.jp | |
| 6 dakef1@docomo.ne.jp | 7 dakef2@docomo.ne.jp | |
| 8 dakef3@docomo.ne.jp | 9 dakef4@docomo.ne.jp | 10 dakef5@docomo.ne.jp |

チェーンメール ...不幸の手紙のように連鎖的に転送されて，大量に流通する電子メールのこと。受信者を不安にさせるもの，人の善意を利用してデマを流すことを目的にしたものなどがある。

実践事例 4 ～個人情報の保護について～

あまい言葉にご用心(対象学年:小学校高学年)

(1) 目標

インターネット上には、名前や住所などの個人情報の入力を求められるサイトがあることを知り、絶対に個人情報を提供しない態度を身に付ける。

(2) 題材について

インターネット上には、アンケートや懸賞などの Web サイトが多数存在する。そこで、入力された個人情報が他の目的に使われたり、他者へ売買されることもある。名簿を売買している業者等もあり、出会い系サイトからの勧誘メールや悪徳業者からの架空請求が送られてくる場合もある。

本題材では、個人情報の保護の大切さを知り、安易に情報を提供しないことや、そのような場面に出会ったときにどのように対処すればよいか理解させたい。

(3) 指導計画案

児童の活動	評価()と留意点()
<p>個人情報を奪う擬似サイトを体験する。</p> <p>入力終了後の画面を見て思った事を発表する。</p> <p>セリフから個人情報とは何かを考える。</p>  <p>個人情報を得た人がこれからどんな事をしようとするのかを考える。</p>  <p>個人情報画面に出会ったらどうすればよいかを考える。</p>  <p>インターネット以外でも個人情報を求められる場合があることを考える。</p>	<p>ジャストスマイルの「つたわるネット」を使用させる。</p> <p>擬似サイトである事を伏せておく。</p> <p>擬似サイトであった事を知らせる。</p> <p>子どもにわかりやすいように整理する。</p> <p>具体的に意見を出させる。</p> <p>流失した情報は、削除するのがたいへん難しい事を知らせる。</p> <p>「家の人に知らせる」「×を押す」等の意見を期待したい。</p> <p>個人情報入力画面に出会ったときの対処法がわかる。</p>  <p>「電話」「アンケート」などの答えを期待したい。</p> <p>個人情報はもらしてはいけないことがわかってるか。</p>

実践事例5 ～インターネット上の不正請求について～
危険なクリックに注意しよう(対象学年:中学生)

(1) 目 標

ワンクリック詐欺などネット上の不正請求などの存在を知り，その対処法を知る。

(2) 題材について

携帯電話やインターネット上では広告メールが飛び交っており，悪意のある送信者は，無差別にメールを送りつけ，その中には架空請求やワンクリック詐欺という仕掛けをしている危険なメールも存在している。特にメールに掲載されている URL をクリックすると，多額な登録料や入会金を不当に請求されることもある。

本単元では，架空請求を取り上げ，その実態や対処法について学習し，今後の生活で被害にあわないような態度を身に付けさせたい。

(3) 指導計画案

生徒の活動	評価()と留意点()
<p>架空請求の例を見る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あなたご利用になったインターネットサイトの利用料がまだ入金されておりません。至急、下記の口座に入金をお願いします。入金がない場合は、1日5000円の延滞金がかかります。また、2週間入金がない場合は、電子メールアドレスから氏名調査・所在調査を行い、ご自宅に回収にうかがいます。なお、その際は交通費として別に2万円いただきます。</p> <p>ご不明の点がございましたら、下記電話番号までお問い合わせください。</p> <p style="text-align: center;">入金口座 ABC銀行〇〇支店 普通 1234567</p> <p style="text-align: center;">ABC債権回収会社</p> <p style="text-align: center;">連絡先 03-1234-5678</p> </div> <p>例を見て，どのように感じるか話し合う。</p> <p>なぜ怖いと思うかを話し合う。</p> <p>返信したり，電話をしたりするとどうなるかを考える。</p> <p>ワンクリック詐欺の対処方法を知る。</p> <p>自分では判断せず，必ず大人に相談することや，興味本位で危険と思われるサイトには入らないことを理解する。</p>	<p>子どもたちにも同じプリントを配布しておく。</p> <p>怖いと思う心理を利用していることに気付かせる。</p> <p>「しつこく請求される」「電話が直接かかってくる」などの声を引き出したい。</p> <p>ワンクリック詐欺とはどのようなものかがわかる。</p> <p>「こちらから個人情報をお明かせないこと」「どんなに怖くても無視をすること」を知らせる。</p> <p>対処法がわかる。</p>

実践事例6 ～出会い系サイト等有害情報から子どもを守るために～
興味本位がたいへんなことに(対象学年:中学生)

(1) 目 標

ネット上での出会いの怖さを知り，匿名であることの危険性に気付く。

(2) 題材について

インターネット上や携帯電話における「出会い系サイト」と呼ばれるサイトについては，最近ではコミュニティサイトと呼ばれる無料のゲームや，音楽情報満載のサイトに様変わりし，子どもたちが危険性を感じないスタイルへと変化している。「モバイルゲーム(モバゲー)」や「テレビ番組等の意見交換」のサイト上で，チャットやメール交換が行われ，実際に会うところまで発展し，トラブルに巻き込まれるケースも増えている。

子どもたちは出会い系サイトに興味本位に，軽い気持ちでアクセスすることが多く，性的被害に及ぶ可能性さえあることをしっかり指導する必要がある。

本題材では，ネット上における匿名での出会いが，様々な犯罪を引き起こす危険性があることを知り，それらを回避するための主体的な判断を行うことができる態度を身に付けさせたい。

(3) 指導計画案

生徒の活動	評価()と留意点()
<p>コミュニティサイトで仲良くなり，実際に会った時に，無理やり連れて行かれそうになった事例を知る。</p> <p>どうして，例のような手口ができるのかを話し合う。</p> <p>例のようにならないためにはどうすればよいかを話し合う。</p> <p>「むやみに個人情報をおかさない」「出会い系サイト等を利用しない」という2つの点を理解する。</p>	<p>イラストやプレゼンテーション，スライド等で提示する。</p> <p>実際にあった事例を紹介する。</p> <p>「成りすましができる」「優しいふりができる」等の意見を引き出したい。</p> <p>匿名性の怖さに気づくことができる。</p> <p>出会い系サイトの危険性を知り，使用しない態度が身についたか。</p>

(4) 指導のポイント

- ・出会い系やコミュニティサイトを利用させないことをしっかり指導する。

【出会い系サイトの被害等】

知り合った男の経営する風俗店で働かされた・・・

最初から殺す目的で呼び出された・・・

複数の男に性的暴行を受けた・・・

誘拐されて，親に身代金要求の電話が入った・・・

18歳未満は出会い系サイトを使ってはいけません！

モバゲー ...モバイルゲームの略。携帯電話端末専用のためパソコン，PHS 端末からのアクセスは一切できない。利用者のほとんどが高校生を中心とする若年層である。

実践事例7 ～パソコンや携帯電話が健康に与える影響について～
楽しいこともほどほどに（対象学年：小学校高学年～中学生）

（1）目 標

パソコンを長時間使用することで、健康上の問題点が起こることを理解する。

（2）題材について

インターネットの世界は、24時間、オンラインゲームができたり、チャットや掲示板等が利用できるのも、夢中になりすぎると夜更かしをして体調を崩したり、ディスプレイを凝視することにより、視力の低下を招くこともある。

本単元では、長時間使用することにより健康上の弊害があることを知る。

（3）指導計画案

児童生徒の活動	評価（ ）と留意点（ ）
1日どのくらいの時間パソコンをやっているかを答える。	夜何時頃までやっているかも答えさせる。
長い時間やり続けると体や生活にどのような問題が出てくるかを考える。	視力や抵抗力の低下、寝不足等の問題に気付かせたい。 問題点を把握できているか。
韓国で2004年に80時間不眠不休でオンラインゲームをしていた若者が死亡した事件を聞く。	極端な例であるが、長時間やり続けることは体に害があることをしっかりと確認させる。
自分の生活を振り返り、生活を改善する態度を身につける。	具体的に答えさせる。 1日にパソコンを利用する時間を設定したり、終わる時刻を設定したりするなどの答えを期待したい。 自分の生活に関連させながら改善策を考えられたか。

（4）指導のポイント

- ・家庭での指導が大切であるため、家庭におけるパソコン利用のルールづくりを啓発するなど、家庭との連携を深める。
- ・「ゲーム脳」や「依存症」など、具体的な影響について触れる。